



6月18日～6月30日 男女共同参画パネル展

DV(ドメスティック・バイオレンス)ってなんだろう?

日本では「配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力」という意味で使用されています。離婚後や元婚約者等「元」の関係、被害者が男性の場合や同性カップル間の場合も含まれます。

DVの種類

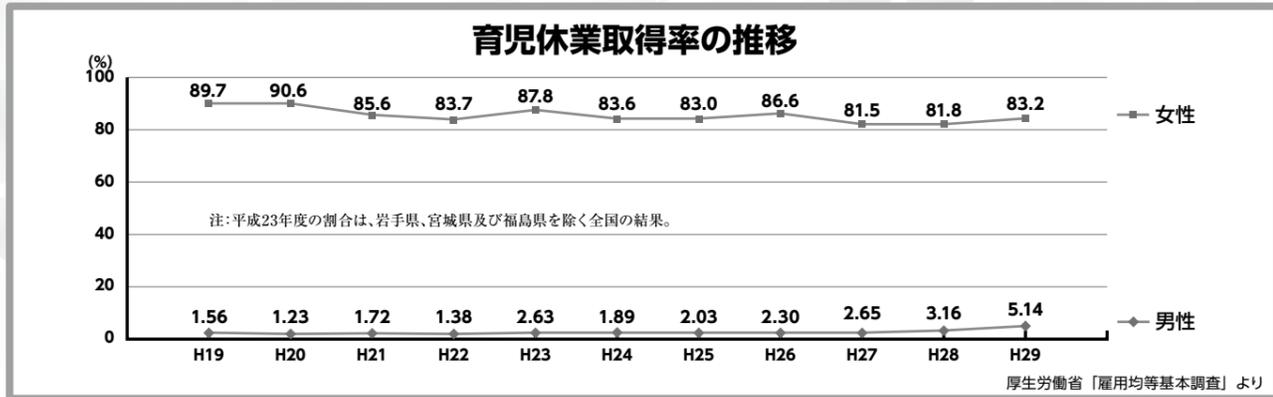
- 身体的暴力** 殴る・蹴る・髪を引っ張る・物を投げつける etc…
- 心理的攻撃** 電話やメールのチェック・行動の監視・友人に会わせない・無視する・脅す etc…
- 経済的圧迫** 生活費を渡さない・働きに行かせない・貯金を勝手に使われる etc…
- 性的強要** 性行為の強要・避妊に協力しないetc…

これまでに結婚したことがある人(2,485人)に、身体的暴行・心理的攻撃・経済的圧迫・性的強要の4つの行為をあげ、配偶者から被害を受けたことがあるかを聞きました。性別ごとにみると、被害経験が「あった」は女性が**31.3%**、男性が**19.9%**となっており、いずれの行為も、女性の方が被害経験者の割合が高くなっています。問題を解決するには専門機関へ相談することが一番の近道です。各窓口では様々な知識を持った専門の職員が、適切な対応を教えてください。もしかして…と思ったら、ひとりで悩まずご相談ください。

相談機関	電話番号	相談機関	電話番号
沖縄県男女共同参画センター (ている相談室)	(女性相談) ☎868-4010 (男性相談) ☎868-4011	那覇地方務局 人権擁護課 女性の人権ホットライン	☎853-1102
沖縄県警察本部 (警察安全相談)	☎863-9110 (または #9110)	沖縄県女性相談所 配偶者暴力相談支援センター	☎854-1172 ☎854-1173(夜間)
沖縄県南部福祉保健所 (南部配偶者暴力相談支援センター)	☎889-6364	なは女性センター	☎861-7515

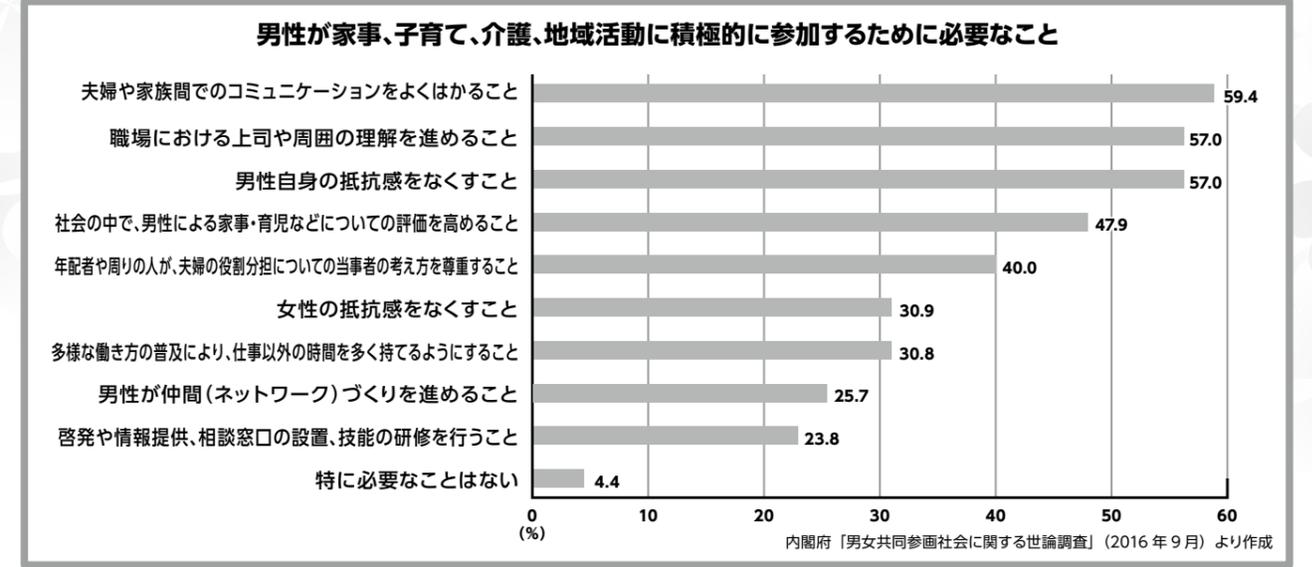
男性の育児休業取得率の実情

男性の育児休業取得率は長期的には上昇傾向にあるものの、現状では**5.14%**にとどまっており、育児休業をはじめとする両立支援制度を利用する男性は少ない状況です。勤労者世帯の過半数が共働き世帯となっている中で、男性も子育てができる環境づくりが求められており、政府目標である2020年の男性の育児休業取得率**13%**の達成を目指し、男性の育児休業取得促進に取り組む企業等を支援する必要があります。企業にとっても、ワークライフバランスの実現は、優秀な人材の確保・定着につながる重要な経営戦略の一つといえます。男性の育児休業の取得や育児短時間勤務の利用等を契機に、職場内で業務の改善や働き方の見直しが行われることで、生産性の向上等も期待できます。



男女共同参画社会…

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会(男女共同参画社会基本法第2条)



男女が共に仕事と子育てを両立できる環境の整備は、女性が活躍できる環境整備としても、男性が子育てを積極的に行うことを促進するためにも、非常に大きな課題になっています。夫婦共働き世帯の増加など、家族の形が変化すると同時に、子育てに関わりたと思う男性の増加など働き方や生き方に対する希望も多様化しています。一方で、男性の育児休業取得率は依然として低く、男性が仕事と育児を両立するためには、育児を積極的にする男性「イクメン」の普及など職場や男性を取り巻く人たちを含め、男性の働き方や意識の改革を進める必要があります。

9月18日 交通安全出発式

沖縄の魔除け「サングワ」をモチーフにした、交通安全のお守り「飲酒運転根絶ゆるサングワ」を西原町女性団体連絡協議会(小波津ミエ子会長)と西原町商工会女性部で作成し、西原町交通安全推進協議会に贈呈を行いました。



2月13日 男女共同参画講演会

「知って安心! 葬儀あれこれ~知らなきゃ損 葬儀の手配あれこれ~」をテーマに、たまきさとし(一般社団法人沖縄県人生支援センター代表)を講師として講演会を開催しました。50名近くの方が参加し、葬儀への関心の高さが伺えました。講演会では、亡くなったあとの手続きの流れや葬儀(家族葬・一般葬)の値段などについて冗談を交えながら解説があり、まとめとして①葬儀は位牌・墓の決定までを含む、②葬儀は事前にすべて自身の都合に合わせて決定できる、③家族が困らないように事前に整理・対応が必要の3点が挙げられました。西原町女性団体連絡協議会伊川幸子副会長は「考えるゆとりと体力と気力がある内に、いろいろと準備しておきましょう」と参加者に呼びかけました。



男女共同参画社会の実現に向けた本町の取組を町ホームページでも紹介しています▶

